

湖響100号に寄せて

(公財)びわ湖芸術文化財団 理事長 ひら た かす ひこ
びわ湖ホール館長 村田 和彦

いつも湖響をご愛読いただきありがとうございます。
びわ湖ホールは1998年9月5日に開館し、昨年25周年を迎えました。開館以来、毎季発行してきました湖響も100号を迎えることができ、みなさまのご愛顧のおかげと深く感謝申し上げます。
この機会に創刊の経緯を振り返ってみます。
湖響の創刊は1998年9月25日ですが、その1年半前から「創刊準備号」が発行されています。4回にわたる創刊準備号では、建築工事など開館準備の様子、初代館長の赤松良子氏や初代芸術監督の若杉 弘氏の紹介、舞台芸術の楽しみ方などが刻々と伝えられ、開館を待ち望むムードを盛り上げていきました。
湖響という名称もこの間に決められています。創刊準備号で愛称公募のお知らせがあり、創刊準備号VOL.2では、3つの名称候補-A 湖響、B オンディーヌ、C カーテンコールへの投票が呼びかけられました。創刊準備号VOL.3から、最多得票の湖響が選ばれて題字を飾っています。この名称は、びわ湖ホールから響く新しい芸術創造の波が世界に向かって広がっていくように、また、びわ湖ホールがみなさんから親しまれる劇場となるように、との願いが込められたものです。
そして迎えた創刊号は、表紙に「湖国から発信する舞台芸術の数々… びわ湖ホール情報誌『湖響』、ついに創刊!」の惹句が躍り、開館記念「オープニング・ガラ」の華やかな公演模様、プロ

デュースオペラ第1弾「ドン・カルロ」や蜷川幸雄の代表作「NINAGAWA・マクベス」への期待、声楽アンサンブルや劇場サポーターの活動報告など、開館の喜びに満ちあふれた誌面となっています。
初心忘るべからずと言いますが、創刊時の湖響が活写したびわ湖ホール草創の熱に触れていますと、国際的水準の劇場で最高の舞台芸術体験を提供し、同時に誰もが気軽に楽しめる文化的環境を創造するという、当館の使命の原点を確認する思いがします。
いま世の中では、予想もしない困難が次々と起こり、内外の先行き不透明感が暗い影を落としています。芸術文化は人々の心を潤し、緊張関係を緩和するとともに、感動の共有を通して人々を結びつけてくれる、社会のインフラと言えるものです。
これからも優れた舞台芸術を創造し、芸術文化の振興や社会の発展に貢献してまいります。その営みを湖響200号、300号までもお伝え続けられるよう、今後とも多くの皆様にご来館いただき、お支えいただきますことを願っております。



湖響創刊号の表紙

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

2024年度 自主事業ラインアップ発表! P2・3
 びわ湖の春 音楽祭2024 ~夢と憧れ~ P4・5
 びわ湖ホール声楽アンサンブル・ニュース P6
 「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう!」一般公演に注目 P7
 2024年 6月公演 Pick up!! P8
 びわ湖ホールからのお知らせ P9
 えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より P10・11
 湖響100号に寄せて P12

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

びわ湖ホール 検索

チケットInformation

インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

電話予約 チケットセンター TEL.077(523)7136

窓口販売 2階チケットセンター

10:00~19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※()内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。
 ※一部公演を除き6歳以上入場可。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(24歳以下)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30~U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。
 【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。

(アクセス)
 大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅より徒歩約60分
 ●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石塚」駅より徒歩約3分
 ●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分
 (駐車場ののご案内) 有料849台 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円)
 23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)

滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 https://www.s-bunsan.jp/ 文産 検索

チケットInformation

インターネット予約 <https://biwako-arts.tstar.jp>

パソコン(座席選択可)、スマートフォン(座席選択不可)から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート)
 ※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。
 滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111
 ※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)

(アクセス)
 (電車でお越しの方)
 JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分
 (お車でのご来館の方)
 北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分
 (駐車場ののご案内) 360台(無料)



びわ湖ホールオペラへの招待 オフエンバック「天国と地獄」より
2023年12月公演



自主事業ラインアップ発表!

テーマは〈夢と憧れ〉

オペラを中心に48事業164公演

2024年度のびわ湖ホール自主事業ラインアップ発表を2023年12月6日に行いました。館長の村田和彦、芸術監督の阪 哲朗、総括プロデューサーの村島美也子が出席、48事業、164公演を行うことを発表しました。

注目のオペラ公演としては、日本のオペラ界を牽引してきて昨年6月に97歳で亡くなった演出家の栗山昌良がびわ湖ホールで過去に演出し、高い評価を受けた3作品を上演します。

昨年から芸術監督の阪がプロデュースしている「びわ湖の春 音楽祭」も〈夢と憧れ〉をテーマに2019年以来、5年ぶりに全館を使って行うなど、多彩な公演が並びます。



ラインアップ発表会見より
左より、館長 村田和彦、芸術監督 阪 哲朗

芸術監督 阪 哲朗より

2023年度は、核となるプロデュースオペラ『ばらの騎士』の舞台である〈ウィーン〉というテーマで公演を実施しました。2024年度は、前年度とは全く違う角度から、プロデュースオペラ『死の都』から〈夢と憧れ〉をテーマに設定しました。芸術活動には夢や憧れが必要です。幅広すぎるテーマですが、オペラでは栗山先生の演出という横糸が通ったことで、イメージが明確になりました。『びわ湖の春 音楽祭2024』でも、テーマに沿って、出演者の皆様にプログラムを考えていただいています。

オペラ Opera

プロデュースオペラ コルンゴルト作曲『死の都』



2025年
3月1日(土)・2日(日)
両日とも14:00開演
【大ホール】

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
演出:栗山昌良
再演出:岩田達宗

出演:パウル/清水徹太郎、山本康寛*
マリー&マリエッタ/森谷真理、木下美穂子
フランク/黒田祐貴、池内 響
フリッツ/晴 雅彦、迎 肇聡* ほか
※びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

管弦楽:京都市交響楽団
合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル

共同制作オペラ オペラへの招待 沼尻竜典作曲『竹取物語』

11月23日(土・祝)、24日(日)
両日とも14:00開演【大ホール】

指揮:阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)

原演出:栗山昌良 演出:中村敬一
出演:砂川涼子、晴 雅彦、迎 肇聡*、森 季子*、※びわ湖ホール
びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか
管弦楽:日本センチュリー交響楽団

※「共同制作オペラ」 びわ湖ホールを含め、iichiko総合文化センター(大分県立総合文化センター)、札幌コンサートホール Kitara、やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)の全国4か所で上演的。

オペラへの招待 クルト・ヴァイル作曲『三文オペラ』

2025年1月24日(金)・25日(土)・26日(日)・27日(月)
各日とも14:00開演【中ホール】

指揮:園田隆一郎 演出:栗山昌良
再演出:奥野浩子 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団



オーケストラ Orchestra

マーラー・シリーズ 沼尻竜典×京都市交響楽団

2025年3月9日(日) 14:00開演【大ホール】
指揮:沼尻竜典 [曲目] 交響曲「大地の歌」
メソソプラノ:重島清香 テノール:宮里直樹
管弦楽:京都市交響楽団



沼尻竜典

(名曲コンサート)華麗なるオーケストラの世界 vol.7 松川智哉指揮 日本センチュリー交響楽団

12月8日(日) 15:00開演【大ホール】
指揮:松川智哉 管弦楽:日本センチュリー交響楽団
[曲目] プラームス:ハイドンの主題による変奏曲
ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」 ほか

びわ湖ホールシルヴェスター・コンサート2024

12月31日(火) 15:00開演【大ホール】
指揮:阪 哲朗 司会:桂 米園治
ソリスト:中川優芽花(ピアノ) 管弦楽:大阪交響楽団
独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか



阪 哲朗 中川 優芽花

子どものための管弦楽教室

2025年3月20日(木・祝)
14:00開演【大ホール】
指揮:藤岡幸夫(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)
管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団

新シーズンの見もの、聴きもの

びわ湖ホールが全国にその名をとどろかせる得意のオペラ3本は見逃せない 東条碩夫(音楽評論家)

2024年~2025年のシーズンの中でも、まず楽しみなのが、びわ湖ホールが全国にその名をとどろかせる得意のだしもの、オペラです。「プロデュースオペラ」のシリーズで予定されているコルンゴルト作曲の『死の都』(3月1日、2日)、「オペラへの招待」シリーズでのクルト・ヴァイル作曲『三文オペラ』(1月24日~27日)および沼尻竜典作曲『竹取物語』(11月23日、24日)の3本が見逃さないでしよう。

『死の都』は、2014年3月にびわ湖ホールが新国立劇場より4日早く、舞台上演としての日本初演を果たしたオペラでした。亡き妻への変わらぬ愛に浸るパウルを主人公に、その妻に生き写しの女性も登場するという物語で、これを彩る音楽が、ちょっとリヒャルト・シュトラウスに似ているところもあって抜群に素晴らしいのです。ドイツ・オーストリア系音楽を得意とする阪 哲朗の指揮が聴きものですが、びわ湖ホールの秘密兵器たる四面舞台設備の威力を発揮する、パウルの家から街路への舞台大転換などもスペクタクルな見ものでしょう。

そして、『三文オペラ』も、びわ湖ホール制作のこの舞台が「地域招聘オペラ公演」として2013年に新国立劇場でも上演され、絶賛を浴びたものでした。暗黒街のボスと、ホームレスの総元締め親分とが、親分の娘をめぐる対立するという物語ですが、あの有名な「モリタート(マック・ザ・ナイフ)」をはじめ、ジャズ的手法をも含んだモダンで楽しい雰囲気満載の音楽があふれます。指揮は前回と同じ園田隆一郎なので、イキの合った演奏が聴けるはずで。

なお、以上の2作品は、昨年6月他界されたわが国演界の大ベテラン、栗山昌良の演出を基に上演されるとのことです。観客に声を明確に聴かせることを最優先した、徹底的な栗山スタイルの舞台です。

もうひとつは、前芸術監督・沼尻竜典の力作、『竹取物語』。だれ知らぬ者もない日本の古典の名作を、作曲家はしきりに全くこだわらない、クラシックからギャグ音楽に至るまでの手法を織り込んで実に楽しいオペラに仕上げ、2015年8月にびわ湖ホールでみずから指揮して舞台初演しました。今回は阪 哲朗が指揮して、大分・札幌・山形での上演を併せた共同制作オペラとして上演されますが、栗山昌良の端正な原演出を、中村敬一がどのように演出し直すかにも興味が湧きます。

さて、オペラ以外にも目を向けると、あまりにたくさんのラインナップがあって、全部を網羅するスペースがないのですが、その沼尻竜典の人気のシリーズのひとつ、京都市交響楽団とのマーラーの交響曲は、ぜひ聴きたい演奏会です。今回(3月9日)は、マーラー晩年の名作、耽美的な「大地の歌」。中国の詩を題材に、酒に託して世の無常を歌うという、実に感動的な交響曲です。

もうひとつだけ、世界屈指の若い世代の弦楽四重奏団、ベルチャ弦楽四重奏団とエペーヌ弦楽四重奏団とが協演する豪華な演奏会(3月30日)を挙げておきましょう。メンデルスゾーンとエネスコのそれぞれ有名な「弦楽八重奏曲」で、これは壮絶な快演になりそうです。

注目の公演

(名曲コンサート) サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル

2025年2月16日(日) 14:00開演【大ホール】

サイトウ・キネン・オーケストラの金管、ティンパニ&打楽器セクションのプレイヤーで結成された金管アンサンブル。国内外のトップアーティストたちによる圧巻の演奏をお楽しみください。



サイトウ・キネン・オーケストラ
プラス・アンサンブル

マイズムゼロ Noism0/Noism1 金森 稔/近藤良平 新作公演〈ダンス〉

2025年 2月1日(土)
16:00開演【中ホール】

Noism芸術監督の金森 稔によるNoism0の最新作と、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督の近藤良平によるNoism1の最新作、レパートリー作品も合わせたトリプルビル公演をお贈りします。



金森 稔
近藤良平

びわ湖ホール四大テノール 2Days!

~1日でも美味しい、2日だともっと美味しい~
7月27日(土)・28日(日)
両日とも14:00開演【小ホール】

出演:びわ湖ホール四大テノール(清水徹太郎、竹内直紀、古屋彰久、山本康寛)、植松さやか(ピアノ)



びわ湖ホール四大テノールが小ホールで2日間連続公演を開催! 「明るい歌声で皆さんを元気に」をモットーに楽しいステージをお贈りします。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

第79回定期公演 4人の作曲家たち~フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、プーランク

びわ湖ホール公演 10月12日(土) 14:00開演【小ホール】
東京公演vol.15 10月14日(月・祝) 14:00開演【東京文化会館 小ホール】

フランス音楽のエキスパートとして、オペラや合唱指揮者として活躍する佐藤正浩を指揮に迎え、フランスの声楽曲をお贈りします。

指揮:佐藤正浩 [曲目] フォーレ:ラシーヌの雅歌
ドビュッシー:シャルル・ドルレアン3つの歌
ピアノ:未定 ラヴェル:3つの歌 ほか



佐藤正浩

第80回定期公演「笑い」と涙ウィーン・ロマンス ~フランツ・シューベルト&ヨハン・シュトラウスII世~

2025年3月22日(土) 14:00開演【小ホール】

滋賀県と友好交流推進に関する協定を締結したオーストリア・ブルゲンラント州ゆかりの指揮者で、アーノンクールなどの助手を務めた、クリスチャン・コッホが弾き振りで定期公演に初登場。

指揮・ピアノ:クリスチャン・コッホ
[曲目] シューベルト:ミサ曲第6番 変長調 D.950 ほか



クリスチャン・コッホ



1998年9月5日(土)「びわ湖ホール開館記念オープニング・ガラ」より

赤松良子 初代館長が逝去されました。

びわ湖ホール初代館長の赤松 良子氏が2月6日に逝去されました。

赤松氏は、びわ湖ホール開館前の1995年度より滋賀県顧問に就任し、1998年4月~2002年3月まで初代館長を務め、初代芸術監督 若杉 弘氏と共にびわ湖ホールの礎を築いてくださいました。

生前のご功績への敬意と感謝と共に、ここに謹んで哀悼の意を表します。

■美しい日本の歌 6ページ参照

■びわ湖ホール音楽会へ出かけよう!(ホールの子事業) [学校鑑賞事業] 7ページ参照

びわ湖の春 音楽祭2024

～夢と憧れ～

2024年 **4月27日(土)・28日(日)**



Pick up!

大ホール

大ホールでは、**阪 哲朗**指揮の**京都市交響楽団**による**2公演**、**全国大会で金賞を獲得している京都橋高等学校吹奏楽部**と**滝川第二高等学校吹奏楽部**という全国的に高い評価を得ている**2校のマーチング・バンド**が登場。2日間で計**4公演**をお贈りします。

(各公演の00-0-0は公演番号です)

27-L-1 4/27(土)11:00~12:00

〈オープニング・コンサート〉

京都市交響楽団

阪 哲朗(指揮)

小林沙羅(ソプラノ)

藤木大地(カウンターテナー)



【曲目】グルック:『オルフェオとエウリディケ』より序曲「エウリディケを失って」
ヘンデル:『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」
リナルドより「私を泣かせてください」
レハール:『メリー・ウィドウ』メドレー/ヴァリアの歌、
J.シュトラウスII世:『こもり』より「チャールダッシュ」ほか

阪 哲朗が自らの活動の原点とするウィーンのオペレッタを指揮。加えて世界で評価されるカウンターテナーの藤木大地がバロックの名作を披露。さらにプリマドンナ小林沙羅がR.シュトラウスの名歌曲で花を添えます。歌にあふれたオープニングは聴き逃しません。

27-L-2

4/27(土)16:00~16:45

滝川第二高等学校吹奏楽部〈マーチング〉



28-L-1

4/28(日)11:00~11:45

京都橋高等学校吹奏楽部〈マーチング〉



28-L-2

4/28(日)17:00~18:00

〈ファイナル・コンサート〉

京都市交響楽団

阪 哲朗(指揮)

ダリボル・カルヴァイ(ヴァイオリン)

【曲目】マラー:交響曲第5番より

第4楽章「アダージェット」

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 二長調



音楽の都ウィーンを支える名門ウィーン交響楽団の第1コンサートマスターを務める超絶技巧と音楽性を兼ね備えた名手ダリボル・カルヴァイが、世界3大ヴァイオリン協奏曲のひとつブラームスの名作を披露します。

Pick up!

小ホール

小ホールでは、**8公演**を行います。阪が信頼を寄せる**実力派が次々と登場**します。

クラシック音楽だけでなく、昨年話題となった邦楽器演奏、今年は遠藤千晶(箏)、山本修也(十七弦)が登場します。びわ湖ホールでもおなじみの**ヴァイオリンの石田泰尚、藤木大地、園田隆一郎**指揮**びわ湖ホール声楽アンサンブル**に加えて、**大ホールでも華麗な演奏を行うカルヴァイ**など**注目の演奏家が勢ぞろい**。

27-S-4 4/27(土) 17:00~17:45



28-S-4 4/28(日) 16:00~16:45



次代を担うバリトンの黒田祐貴が、大好評を博した、一昨年の「セビリアの理髪師」のフィガロに続いて、初リサイタルを行います。昨年はリートを学ぶためにドイツに留学、今回はブラームス、ヴェルディ、R.シュトラウス、シューマンのリートと25年3月のプロデュース・オペラ「死の都」で歌う我が憧れ、我が幻想(ピエロの歌)などを山中惇史とともに披露します。

日本とドイツを拠点に活躍を続ける川崎翔子が、「南ドイツ新聞」をはじめドイツ、オーストリアで高く評価されたドビュッシーやショパン、リグティなどバラエティ豊かなプログラムを演奏します。

Message

びわ湖ホールは2022年に「セビリアの理髪師」で初めて舞台上に立たせていただきました。今回のプログラムは「夢と憧れ」というテーマです。私は昨年1年間、ドイツでリートの勉強をしました。そこから今回はリートを中心にプログラムを組みました。人間に対する憧れ、女性に対する憧れや、自分の故郷に対する憧れ、自分がこれからやりたいこと、そういったことを歌っている歌曲をたくさん詰め込んでみましたのでお楽しみに。(黒田祐貴)

西日本有数の規模を誇り、びわ湖ホールの春の風物詩となった音楽祭。阪 哲朗が芸術監督に就任して2年目の今年のテーマは「夢と憧れ」。
新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、2019年以前の規模に復活させ、大・中・小ホールに加え、メインロビーの無料公演や隣接するピアザ淡海等での関連企画も含め、賑わいが戻ってきます。さらに、コラボ商品の販売や、大津の街中を巻き込むような様々なお楽しみを用意しています。

創作行為の原点「夢と憧れ」をテーマに注目の演奏家が登場します。

阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)



音楽祭のテーマ「夢と憧れ」は、音楽や美術にとどまらない文学なども含めた創作行為の原点にある考えだと思います。

出演者の方々にもテーマに基づいて、プログラムを決めてもらいました。それぞれの「夢と憧れ」がどう表現されるのか楽しみです。

今回は、びわ湖ホール初登場の方を何人かお呼びしています。

まず、ヴァイオリンのダリボル・カルヴァイさん。スロヴァキア出身で、今は名門ウィーン交響楽団のソロ・コンサートマスターを務めています。ウィーンでは、以前から注目されていて、あのクリスタル・ルートヴィヒさんが演奏を聴いて感動し、ズービン・メータやサイモン・ラトルに紹介、面会の手立てまでとったにも関わらず「録音の予定が入っている」と断った逸話が有名です。

出世や商業ベースとは無縁の「音楽だけ」を追い求める、現代には希少な人です。僕も以前ブラームスの協奏曲で共演しましたが、技術の素晴らしさに加えて、オーケストラとも緊密にコミュニケーションし、必要とあらば即興的な要素を加えて音楽を進めています。その規格外の魅力はここでは説明できないので、ぜひ会場で聴いてもらいたいです。

また昨年も邦楽公演の評判が良く、今年は箏の遠藤千晶さんに出演していただきます。以前、箏とオーケストラの協奏曲で共演し、宮城道雄の系譜を継ぐ和の品格と彼女の洋楽への理解、ジャンルの垣根を超えた音楽性に魅了されました。邦楽界の活躍とともに内外のオーケストラで協奏曲を委嘱初演するなど、素晴らしい活動をしています。

また、ピアノの川崎翔子さんは、ラフマニノフ作曲「バガニーニの主題による狂詩曲」で共演したときに音楽性と技術の素晴らしさに感動しました。また今年生誕100年を迎えるリグティの研究実践でヨーロッパでも認められていますので、ショパン、ドビュッシーとリグティなど、さまざまな時代の作品を演奏していただきます。

Pick up!

中ホール

2019年以来5年ぶりに中ホール公演が復活します。27日には音楽祭の目玉公演のひとつ、**京都フィルハーモニー室内合奏団**による**0歳児から入場可能なコンサート**を行います。(182公演)

27-M-1 4/27(土)10:00~10:45 0歳児からのコンサート①

27-M-2 4/27(土)13:00~13:45 0歳児からのコンサート②

京都フィルハーモニー室内合奏団

【曲目】チャイコフスキー:「くるみ割り人形」より「中国の踊り」、「トレバック」
映画「アナと雪の女王」より「Let it go」ほか(午前と午後で曲目が異なります)
保護者1名につき、2歳以下のお子さまひざ上無料。



28-M-1 4/28(日)12:30~13:15
ギター・クンチャナ(バリ・ガムラン)

【曲目】あわてうさぎ2024/銀の雨//バロン/チェンドラワシ

ガムランは、インドネシアやマレーシアで発達した伝統音楽で、さまざまな銅鑼や鍵盤打楽器による色彩感豊かでリズムミカルな合奏と、民族衣装を着たダンスなどが舞台上で繰り広げられ、初めての人でも楽しめます。



28-M-2 4/28(日)16:00~16:45

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

溝越美詩、山田知加、益田早織、森 季子、清水徹太郎、谷口耕平

五島真澄、林 隆史

植松さやか(ピアノ)

【曲目】木下牧子:春に/夢みものは...
信長貴富:春/夜明けから日暮れまで
ラター:永遠の花、いのちの歌 ほか

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーが、声楽のすばらしさを伝える45分間、是非お聴きください。

今年の音楽祭の聴きどころ

これまでの音楽祭の継承に新たな取り組みを加え、魅力を増した今年の音楽祭

春の風物詩となった音楽祭は「びわ湖の春 音楽祭」と名称を変えて2年目を迎える。「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」として2010年に始まったものを継承して、そこに加えて新たな取り組みが満載。今年はコロナ禍を経てようやく本格稼働できることになった。

びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗によれば、今年のテーマである「夢と憧れ」は、「芸術が成立するために不可欠なもの」であるのと同じく、2025年3月にプロデュースオペラとして取り上げるコルンゴルトのオペラ「死の都」に由来する言葉だ。オペラの内容と「深いつながりがある」とした上で、阪は「このテーマから連想される作品を」と曲目決定にあたって出演者にリクエストをした。

びわ湖ホール大・中・小ホールをフルに使っての有料公演は、2日間で計16回予定される。一部開催時間の重なる催しもあるが、その多くを「はしご」しながら聴くことができ、音楽にどっぷりと浸る2日間となる。

初日27日の朝は9時30分にメインロビーで、さきらジュニアオーケストラによるファンファーレで開会宣言。続く中ホールでの「0歳児からのコンサート」と、小ホールでの遠藤千晶と山本修也による箏と十七弦箏のデュオから音楽祭がスタートする。さらに11時からは大ホールで、阪の指揮する京都市交響楽団による「オープニング・コンサート」。ソリストにソプラノの小林沙羅とカウンターテナーの藤木大地という、びわ湖にも縁の深い2人の独唱者が登場する。ブルックやヘンデルのオペラの名アリアが並び、レハール「メリー・ウィドウ」の名場面が繰り広げられたかと思えば、R.シュトラウスのリートが並んで、最後はヨハン・シュトラウスII世の「こもり」の《チャールダッシュ》で大団円。一方、小ホールではウィーン交響楽団のコンサートマスターであるダリボル・カルヴァイが山中惇史のピアノとともにベートーヴェンの「スプリング・ソナタ」を奏で、びわ湖ホール声楽アンサンブルは園田隆一郎の指揮でオペラの合唱曲の数々を。黒田祐貴は再び登場の山中のピアノでドイツリートやオペラの名アリアを歌う。その合間を縫って大ホールで賑々しく鳴り響くのが名門・滝川第二高等学校吹奏楽部のマーチングだ。

相対して28日の大ホールでは5年ぶりに登場となる京都橋高等学校吹奏楽部のマーチングが予定されている。小ホールではレオンコロ弦楽四重奏団、ヴァイオリンの「組長」石田泰尚がピアノの岡本知也と多彩な曲目を奏でれば、前日も登場の藤木大地が今度はピアノを弾く園田隆一郎と日本歌曲からミュージカルまで。期待のピアニスト・川崎翔子はドビュッシー、ショパン、リグティという変幻自在なプログラムを披露する。あわせて中ホールではギター・クンチャナのバリ・ガムランがあり、びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーが日本の合唱音楽を届ける。最後は大ホールでのファイナル・コンサートで、再び阪指揮の京都市交響楽団が、初日に登場したダリボル・カルヴァイの奏でるブラームスの《ヴァイオリン協奏曲》で重厚に音楽祭を締めくくるから圧巻の幕切れだ。

「夢と憧れ」が多様に渦巻く2日間。両日もメインロビーでは、ここまで登場した音楽家たちがバラエティ豊かに入場無料のコンサートを行うことも音楽祭らしいところで、大いに気分を盛り上げてくれることだろう。ロビーではコラボ商品の販売があるほか、4月中旬から5月にかけて滋賀県各地で関連コンサートも開かれる。

メインロビー

●入場無料(事前申し込み不要)

音楽祭初日の9時30分からは開会宣言とさきらジュニアオーケストラによるファンファーレで華麗に開幕します。さらに中谷満指揮のさきらジュニアオーケストラが「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーを演奏します。



園田隆一郎

また、令和5年度、「第42回滋賀県ピアノコンクール」の入賞者、大津祭 月宮殿山によるお囃子などの演奏とともに、有料公演に登場する、ダリボル・カルヴァイ、小林沙羅、園田隆一郎、山中惇史、石田泰尚などが親しみやすい作品を演奏します。



山中惇史



大津祭 月宮殿山 2019年のロビー・コンサートより



最新情報については音楽祭特設ページをご覧ください!
びわ湖ホールシアター・メイツ特別顧問
にゃんぼ先生 © 阪田佳奈子

ピアザ淡海

びわ湖ホール東隣のピアザ淡海では、子どもも大人も楽しめるプログラムが満載!

Piazza Festaを27日、28日の10:00~17:00に行います。

「音楽隊と交通安全を学ぼう」、「よし笛コンサート」、「絵本読みきかせコンサート」、「ハンドベルコンサート」「キッズバレエ」「スタインウェイを弾いてみよう」など14プログラムを用意しました。(一部事前予約が必要なプログラムがあります。主催者にお問い合わせください)
(主催・お問い合わせ)
ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター:077-527-3315(9:00~17:00/月曜休館)

「びわ湖の春 音楽祭」と滋賀の名品のコラボが誕生

ワンダリング無料キャンペーン!

滋賀が誇る名品に「びわ湖の春 音楽祭」オリジナルラベルが登場。メインロビーで販売します。

2024年4月20日(土)~5月6日(月・休)の期間中、JR膳所、大津駅、京阪びわ湖浜大津駅周辺の対象店舗でワンダリング無料キャンペーンも実施します。ぜひ、お出かけください。

詳細は決まり次第、音楽祭特設ページでご案内します。



「クラフトビール」
近江麦酒の人気No.1「靴エール」
靴が作り出すさわやかな酸味と旨味。
提供:近江麦酒



「ワイン」
自社農産収穫マスカットベリーAを100%使用。甘口タイプのスパークリングロゼ
提供:太田酒造株式会社



「紅茶のジェラート」
近江の茶どころ信楽・朝宮産の国産紅茶を使った「びわ湖の春 音楽祭」オリジナル紅茶「月露」とアッサム紅茶のジェラート。
提供:GMT紅茶専門店



「日本酒 浅茅生 みずかがみ 純米吟醸」
大津市産の「みずかがみ」を使用したみずみずしい味わいです。
提供:有限会社平井商店



オペラへの招待
オッフェンバック作曲『天国と地獄』 2023年12月21日(木)・22日(金)
23日(土)・24日(日)

現在の日本の課題を風刺した日本語訳詞で上演



第1幕第2場より(12月22日)



第1幕第2場より(12月22日)



演出の岩田達宗

オペラ界で人気演出家の岩田達宗が、オッフェンバックのオペレッタの代表作『天国と地獄』を演出。フランス・オペレッタの特徴である社会風刺を現在の日本の政治や経済の課題に置き換えて、観客の笑いを誘い、物語に引き込んでいきました。台本も執筆した岩田が、びわ湖ホール声楽アンサンブルの指揮者・大川修司とともに、音楽とセリフ、演技が一体となったオッフェンバック作品の魅力をも十分に引き出しました。

美しい日本の歌

びわ湖ホール声楽アンサンブルが、唱歌や童謡、昭和・平成に親しまれた歌謡曲を熱唱する大人気シリーズ。誰もが知る名曲を声楽アンサンブル特別アレンジでお届けします。



指揮：本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者) 編曲：植松さやか
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団 ※米原公演は植松さやかによるピアノ演奏
【曲目】「東京ブギウギ」、「栄冠は君に輝く」、「カチューシャの唄」、「ゴンドラの唄」、「赤いスイートピー」、「栄光の架橋」ほか

びわ湖ホール公演 6月15日(土) 14:00開演 【大ホール】
米原公演 8月4日(日) 14:00開演 文化産業交流会館

〈びわ湖ホール公演〉一般3,300円 青少年(24歳以下)1,650円 シアターメイツ770円
〈米原公演〉一般2,500円 青少年(24歳以下)1,000円

〈びわ湖ホール公演〉チケット発売中 〈米原公演〉チケット発売:5月25日(土)

「ふれあい音楽教室」

音楽室、体育館で音楽の授業を行いました。

声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニスト1人が県内の小学校に赴き、音楽室で音楽の授業を行う取り組みで、平成13年以来、のべ305校を訪問しています。

今年度は大津市立葛川小学校(1月11日)からスタートして、2月14日までの14日間に、22校を訪れました。授業では、校歌の歌唱に続いて、びわ湖ホールや、声楽アンサンブルの活動、オペラの活動などを紹介したほか、実際にオペラ・アリアなどを歌い、最後には2人の指導のもとに子どもたち全員で合唱しました。



一流の音楽家による「若い音楽家が将来羽ばたくために活用を」と若杉 弘びわ湖ホール初代芸術監督(指揮者)の夫人 長野羊奈子様
セミナーを一般公開!! (声楽家)よりびわ湖ホールに遺贈された(若杉・長野音楽基金)を活用したセミナーを開催します。

●阪 哲朗オペラセミナーⅡ ～『フィガロの結婚』～

びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗が講師を務めるオペラセミナー。国内外から公募した受講者への指導の様子を一般に公開します。第2回は、モーツァルトの『フィガロの結婚』を題材とし、普段は知ることのできないオペラ制作の裏側も見ていただけます。

講師：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
コレペティツァ指導：三ツ石濱司(新国立劇場オペラ研修所専任コレペティツァ)
西 聡美(ベルリン国立歌劇場コレペティツァ)
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル 管弦楽：大阪交響楽団
受講者：プロの指揮者、コレペティツァを目指す若手音楽家

〈内容〉6/25～27 10:00～17:00 ピアノでの演習
6/28 13:00～17:00 オーケストラでの演習
6/29 11:00～17:00 オーケストラでの演習、受講者による成果発表

6月25日(火)～29日(土) 【大ホール】

【5日通し券】一般6,600円 U30(30歳以下)3,300円 友の会優先発売:4月11日(木)
【1回券】一般2,200円 U30(30歳以下)1,100円 全席自由席 一般発売:4月13日(土)

●林 康子 声楽曲研修

日本人として初めてオペラの殿堂ミラノ・スカラ座で『蝶々夫人』の主役を歌ったソプラノ歌手の林 康子を講師に迎え、びわ湖ホール声楽アンサンブルのための研修を行います。イタリア声楽曲を研修内容とし、指導の様子を広く一般に公開します。

講師：林 康子 ピアノ：越知晴子
受講者：びわ湖ホール声楽アンサンブル

5月23日(木)～25日(土) 【小ホール】 11:00～17:00

【3日通し券】一般3,300円 U30(30歳以下)1,100円
【1回券】1,650円 全席自由席
友の会優先発売:4月5日(金) 一般発売:4月7日(日)



びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう!
～今年も一般公演に出かけよう

「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう!」とは

県内すべての子どもが中学3年生までに舞台芸術に触れる機会を創出することを目的に行うオーケストラ公演。平成23年から始まり、昨年は6日間12公演、181校、1万人を超える子どもたちが、芸術監督、阪 哲朗の指揮によるクラシック音楽の名曲の演奏を楽しみました。全員で「翼をください」を歌う名物コーナーほか、曲に合わせて手拍子するなど、聴くだけでなく参加もできる約1時間の公演です。

※学校を対象にする公演には、一般公開はありません。

5月29日(水)～31日(金)、6月4日(火)～6日(木) 【大ホール】



2023年の「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう!」一般公演 6月3日(土)

大人も子どもも楽しめる
一般向け公演を今年も開催します

2023年は、開館25周年記念として、同じプログラムで一般向け公演を行いました。子どもたちがびわ湖ホールで体験している内容を、大人も一緒に楽しむことができる公演として大好評を得て、2024年も実施が決定しました。

指揮：阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督)
管弦楽：京都市交響楽団
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル
脚本・構成：中村敬一

6月1日(土) 14:00開演 【大ホール】

大人1,650円 子ども(小・中学生)550円 友の会優先発売:4月5日(金) 一般発売4月7日(日)

【曲目】
ロッセーニ：オペラ『ウィリアム・テル』序曲
ブラームス：ハンガリー舞曲第5番
ビゼー：「アルルの女」第2組曲より「ファランドール」
J.シュトラウスII世&ヨーゼフ・シュトラウス：「ピチカート・波尔カ」
ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」より
村井邦彦：翼をください
パデルト：「バイレーツ・オブ・カリビアン」メドレー

阪 哲朗が語る「音楽会へ出かけよう!」の魅力

一般公演で、生演奏のすばらしさをぜひ家族で体験してほしい

昨年、指揮して、子どもたちの反応はさまざまに興味深く感じました。台風が近づくなか、決死の思いで駆けつけてくれた子どもたちに意を感じたオーケストラが素晴らしい演奏をしてくれたのをはじめ、子どもたちと一緒に歌ったり、手拍子がおこったり、ステージと客席が対話し、会場が感動で一つになって、音楽の素晴らしさを改めて感じました。

子どもたちにとってプロの演奏家は、例えばテノールの高音やソプラノのコラトゥーラの超絶技巧、あるいはオーケストラがものすごいスピードで演奏することは、サーカスに近い、エンターテインメントの世界のようなもの。そういったことにまず興味をもてば、演奏家がそこから音楽の魅力に導いていけるのではないのでしょうか。

それに、家で子どもは一人でYouTubeを見て、大人はテレビを見ているなど、あまり家族が交わる時間がな

いということも聞きます。

「音楽会へ出かけよう!」のように多くの子どもが本物の演奏に触れる機会が日本でも珍しいものですし、すぐ喜んでくれる。こちらから働きかければ「今度はお家の人と一緒に来てって、指揮者のおじさんに言われたから一緒に行こう」という子どももいるかもしれません。

家族で聴く機会が作れば、各々感じ方も違うでしょうし、そこに対話が生まれるのではないのでしょうか。「ここが良かった」といっても一人ひとり違うので、それを話題にすることもできるでしょう。

近年はとくに、実際に体験をするのではなく、ヴァーチャル空間で済ませてしまうことも多いのですが、その場の雰囲気や盛り上がる空気感などは、生演奏にはかない。そういったことをひっくるめて、音楽のすばらしさが体験できると思います。一度、家族で来てみてほしいです!

Report

●びわ湖ホールシアターメイツのリハーサル見学会を行いました。 ●清水徹太郎が、京都府文化賞 奨励賞を受賞

「びわ湖ホールシアターメイツ」の限定イベントとして、2023年12月16日に『天国と地獄』のリハーサル見学会を行いました。普段は見ることのできないオペラのリハーサルの一部公開ということで、約40組の親子らが、場面によって照明が変わる様子や出演者が舞台上に出るタイミングの確認の様子など、練習風景を見学しました。



見学会終了後は、出演者のびわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーを交えての質問コーナーもあり、オペラの見どころや「オペラに出る時の心がまえは?」などの質問も飛び出しました。

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソコ登録メンバーの清水徹太郎が、第42回京都府文化賞・奨励賞を受賞しました。「京都市立芸術大学・大学院において声楽の技術面と精神性を学び、大学院を終了する年にプロデビュー。びわ湖ホール声楽アンサンブルなどを拠点として、国内外で精力的に活動し、人の心を動かすその歌声は高く評価されている」と受賞理由が紹介されました。



2月6日に行われた受賞式では「素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。特定の公演ではなく、いままでやらせてきていただいたことに対して、素敵な褒美をいただいたと感じています。これを励みに今後より一層頑張りたいと思います」と喜びを語りました。

2024年6月公演 Pick up!!

特別コンサート タリス・スコラーズ



タリス・スコラーズ

1973年の結成から現在まで、ルネサンス宗教音楽の演奏において、世界最高峰のグループとしての地位を確立し続けて来たイギリスのタリス・スコラーズ。昨年からは結成50周年のワールドツアーで11年ぶりにびわ湖ホールに登場します。

プログラムは、世界の音楽界から空前の演奏と評された、モーツァルトとの逸話でも有名なアレグリー作曲の「ミゼレーレ」、"教会音楽の父"と称されるパレストリーナの名作など、ミケランジェロの大作天井画「最後の審判」で知られるイタリアのシステーナ礼拝堂で歌い継がれてきた天上の音楽です。

50年の歴史に培われた、煌めくような輝きを放つ超越したハーモニー、“究極のポリフォニー”といわれる至高のアンサンブルをお楽しみください。

出演:ピーター・フィリップス(指揮)、タリス・スコラーズ



ピーター・フィリップス

【曲目】パレストリーナ:ミサ曲《主よ、われ御身に依り頼みたり》—キリエ
モラレス:天の女王、喜びませ(レジーナ・チエリ)
パレストリーナ:ミサ曲《汝はペテロなり》—グロリア
フェスタ:あなたは何にもまして美しい
カルバントラ:哀歌
パレストリーナ:教皇マルチェッロのミサ曲—クレド
アレグリー:神よ、われを憐れみたまえ(ミゼレーレ)
パレストリーナ:ミサ・ソレムニスより—サンクタス
ジョスカン・デ・プレ:自然の摂理に逆らって
パレストリーナ:ミサ曲集第3巻—ミサ・プレヴィス、アニュス・デイ

6月30日(日) 14:00開演【大ホール】

S席5,500(4,950)円 A席4,400(3,850)円 B席3,300円 青少年(24歳以下)1,650円

チケット好評発売中

ティボー・ガルシア ギター・リサイタル

福山雅治と石田ゆり子主演の映画「マチネの終わりに」に出演。天才ギタリストとして大ブレイクしたティボー・ガルシアが登場します。美しさと繊細さを兼ね備えた極上の音楽をお楽しみください。



©Marco Borggreve

出演:ティボー・ガルシア(ギター) ティボー・ガルシア

【曲目】
バリオス:大聖堂、郷愁のショーロ、マズルカ・アパッショナータ、マシーシ、森に夢見る、蜜蜂
ジュリアーニ:大序曲 op61
パガニーニ:ロマンス(グランド・ソナタ 長調 op39より)
カプリス24番(24のカプリス op1より/ジョン・ウィリアムス編)
アサド:別れ(組曲「夏の庭」(日本映画「夏の庭」より)
ブローウェル:黒いデカメロン

6月2日(日) 14:00開演【小ホール】

一般4,400(3,850)円 青少年(24歳以下)1,650円

チケット好評発売中

室内楽への招待 ダネル弦楽四重奏団

ベルギーが誇る実力派カルテットが2022年に続き再び登場します。今回はプロコフィエフとシューベルトを取り上げる意欲的なプログラム。コンサート前日にはレクチャーコンサートも開催します。



ダネル弦楽四重奏団 © Marco Borggreve

出演:ダネル弦楽四重奏団
マルク・ダネル、ジル・ミレ(ヴァイオリン)
ヴラッド・ボグダナス(ヴィオラ)
ヨヴァン・マルコヴィッチ(チェロ)

【曲目】

プロコフィエフ:弦楽四重奏曲 第1番 口短調 作品50
シューベルト:弦楽四重奏曲 第13番 短調 D804(ロザムンデ)
シューベルト:弦楽四重奏曲 第12番 八短調 D703「四重奏断章」
プロコフィエフ:弦楽四重奏曲 第2番 長調 作品92

6月16日(日) 14:00開演【小ホール】

一般4,950(4,400)円 青少年(24歳以下)2,200円

※6歳以上入場可

関連企画

レクチャーコンサート 出演:ダネル弦楽四重奏団
翌日のコンサートプログラムにあるプロコフィエフにちなみ、20世紀ロシアの大作作曲家たちと、シューベルトに関する内容をお贈りします。

6月15日(土) 18:00開演【小ホール】

一般1,650円 青少年(24歳以下)550円

全席自由席

共催

TAIRIK プロデュース 「古澤 巖の品川カルテット」

カリスマ的なパフォーマンスで聴衆はもとより、演奏家からも絶大な信頼を集める古澤 巖が立ち上げた「品川カルテット」。古澤がその才能に惚れ込んだロベルト・ディ・マリーノ作品と弦楽四重奏の名曲を演奏します。当日はフリーコンサートも開催します。



品川カルテット

出演:TAIRIKプロデュース「古澤 巖の品川カルテット」
古澤 巖、福田悠一郎(ヴァイオリン)、
TAIRIK(ヴィオラ)、高木慶太(チェロ)

【曲目】

ロベルト・ディ・マリーノ、マーラー、シャブリエ、ドビュッシー作品 ほか
13:00~フリーコンサート有り。

6月13日(木) 15:00開演/19:00開演【大ホール】

一般5,500円

チケット好評発売中

びわ湖ホールからのお知らせ

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費 2,500円(税込)

お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ(総稽古)へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援して下さる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示 など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要 <お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま

アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一園テクノ株式会社/いなみ矯正歯科/岩佐益男/上原恵美/宇高節子/エアスペンサー株式会社/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本滋賀支店/近江精工株式会社/大岸 実/大谷 巖 監理士事務所/大津商工会議所/岡崎洋一/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/小倉美佐子/オブテックスグループ株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西みらい銀行/木村水産株式会社/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/株式会社きんてん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/工藤 卓/granlumieグランルミエ/KKゴルフクラブ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得央/株式会社コングレ/株式会社笹川組/株式会社佐藤総合計画 関西事務所/三精テクノロジー株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀県信用保証協会/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社清水屋呉服店/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイティア/学校法人純美学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/大和証券株式会社京都支店/高坂哲夫/タカヒサ不動産株式会社/高谷トモト/ちばレディスクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社ツジミ/株式会社DGコミュニケーションズ/株式会社天下一品/トヨタモビリティ滋賀株式会社/レクス大津/西川 望/日新薬品工業株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/野村證券株式会社大津支店/羽泉正浩/パウ・クリエイト株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人ハル六文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/日野精機株式会社/株式会社ビルディング・コンサルタントワイス/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井絢子/富士通Japan株式会社/兵衛製作所株式会社滋賀事業所/ホテルブルーレーク大津/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/株式会社村田製作所野洲事業所/望田法律事務所/八百久/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/山本英司/税理士法人山本会計/ヤンマーグローバルエキスパート株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール/和田厚幸/渡辺朗夫

(五十音順・敬称略)一部非掲載/2024年3月1日現在

舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい! ~舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を~

びわ湖ホールでは、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造する取り組みに、皆さまの深いご理解と多くのご支援をいただいております。ご芳名はびわ湖ホールのウェブサイトで紹介させていただいております。

素晴らしい舞台芸術を創造し、より多くの方に手軽にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とたゆまぬ努力はもちろんのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。

「公益財団法人」である当財団へのご寄付については、税制上の優遇措置が適用されます。ウェブサイトからもお手続きいただけますので、舞台芸術の振興のため、引き続きご支援をお願いいたします。

<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140 詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/about/arts-fund

代表銘菓
こだわりの小豆の
やさしい味わい

かとう しょう じゅん あん
〒520-2266 滋賀県大津市大石町4-2-1
TEL.077-546-3477(代) FAX.077-546-3480
公式オンラインショップはこちら▶

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 叶匠寿庵

はずむ心の
お買物

平和堂

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
TEL (0749) 23-3111 FAX (0749) 23-3118
URL https://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社平和堂

お知らせ 2024年度のびわ湖ホール一部利用休止について

音響・照明の改修工事のため、下記のとおり一部施設を利用休止します。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- 休止施設 大ホール・中ホール・小ホール
- 休止期間 大ホール・中ホール 2024年7月1日(月)~10月31日(木)
小ホール 2024年8月1日(木)~8月31日(土)
- 休止しない施設 リハーサル室・練習室1~3・研修室・メインロビー

※ホール事務室、チケットセンター、レストランは通常どおり営業しています。

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。

<お問い合わせ> びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135

モデルハウス「におの浜の家」

びわ湖大津
プリンスホテル住宅博

木のぬくもりあふれる暮らしをご体感ください。

木の家専門店
谷口工務店
〒520-2531 滋賀県蒲生郡竜王町山之上 3409

TEL.0120-561-099

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社 木の家専門店 谷口工務店

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

令和6年度、
文産会館は公演を通じて
「湖北」の魅力を
より一層、発信します!

当館は開館以来、湖北地域の魅力や資源を活かした公演活動を行ってきました。令和3年度には、地域資源である伝統文化の普及・振興に貢献したとして「地域創造大賞」を受賞しました。

本年度は、更に「湖北」の魅力を伝えられるよう取り組みます。

令和6年度「湖北」の魅力発信のための主な事業

① 芝居小屋「長栄座」公演
湖北百景－風雅の竹生島

令和6年度から、芝居小屋「長栄座」公演は、3年計画の新たな企画がスタートします。その名も「湖北百景」と題し、湖北の魅力を県内外の方に更にお伝えしたいとの願いから毎年一作品を制作していきます。

日時 7月27日(土)・28日(日) 両日とも14:00開演

会場 イベントホール内特設舞台「長栄座」

3年間の流れ

令和6年度 「竹生島」
(日本舞踊×落語)

竹生島宝厳寺開山1300年を記念して、「竹生島」を新たな演出で制作。

令和7年度 「羽衣」(能)〈予定〉

余呉の羽衣伝説と能「羽衣」からヒントを得て、新制作予定。

令和8年度 「十一面観音」(声明)〈予定〉

渡岸寺「国宝十一面観音」を題材に、声明の公演を検討中。



② 滋賀県次世代育成ユースシアター
邦楽ミュージカル
「近江むかしがたり」

令和5年12月に、近江の様々な民話や昔話を盛り込んだ、邦楽ミュージカルを上演しました。オーディションや30回にも及ぶ稽古を経た子どもたちの熱演は記憶に新しく、また近江の魅力が詰まった物語に大好評を得ました。今年度も続編を創作します。

日程 12月15日(日) 時間 14:00開演 会場 イベントホール

(アンケートより)

- 丁寧な舞台で、美しい場面がたくさんあり驚きました。様々な年齢の出演者で、この地域の物語に取り組みられたことが素晴らしいと感じました。静かに物語が流れ、奥深い。素敵な地域ですね。
- 雪や螢の演出やお芝居の出来は見応えがあった。方言も心地よく一体感も素晴らしく、練習が大変だったろうと感服しました。天女の切ない歌声にも聞き惚れました。

昨年の公演の様子



④ 和のじかん

県内の小・中学校に邦楽アーティストが向かい、教室等で演奏を行うアウトリー事業です。長浜市木之本町が和楽器弦の産地であることにも触れ、邦楽を通じて地域の魅力も知るきっかけになればと考えています。

日時 10月～令和7年2月 会場 滋賀県内の小中学校



③ 北の近江振興プロジェクト
北にきゃんせ音楽会

今年度から始まる新企画。当館で養成した、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」が、県北部の各地を訪ね、ミニコンサートやワークショップを行います。小劇場でも地域の魅力を映像と邦楽の音色で紹介する演奏会を開催します。

※「きゃんせ」とは県北部の方言で「いらっしやい」という意味

〈出演者〉 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」
片岡リサ(箏奏者)
吉澤延隆(箏奏者)

〈演奏会〉
日時 9月21日(土) 14:00開演
会場 小劇場



邦楽だけでなく、吹奏楽も! /

吹奏楽団
「シエナ・ウインド・オーケストラ」(SWO)
と連携・協力協定を締結しました

コロナ禍の令和2年10月に観客と共演するSWOのコンサートを当館で開催以来、絆が深まり、連携・協力協定を令和5年12月1日に、締結しました。当館は、これまで邦楽や邦舞をはじめとした古典芸能の次世代育成に力を入れてきましたが、吹奏楽でも新たな試みを始めます。



連携・協力協定会見の様子

「シエナxシエナ」(令和5年12月10日公演)

〈12月18日 会見コメント〉

竹村憲男(滋賀県立文化産業交流会館 館長)

湖北地域の皆様はじめ次世代を担う青少年に良質の音楽に触れていただく機会の創出を持続的に行うため、普及プログラムや演奏会で数多くの実績をお持ちの日本を代表するSWOと、連携・協力協定を締結する運びとなりました。具体的な事業としては、中学校・高等学校の吹奏楽部や県吹奏楽連盟と連携しながら、毎年、楽器の取り扱いや演奏技術など初歩からのクリニックとアンサンブルの演奏会などを考えています。

高澤芳郎(SWO事務局長)

青少年の育成は一度の公演ではできず、「継続する」ことが重要です。ホールの事業担当もオーケストラの事務局も代わっていく中で継続して事業を行うには、連携協定を結び未来の約束をすることが大切だと思い、様々なところで連携協定を結んでいます。

SWOの活動拠点は東京ですが、米原は新幹線が止まり日帰りも可能なため、吹奏楽部へのクリニックなど手軽に行うことができます。これらの協定を通して地域振興に繋がれば嬉しいです。

佐渡裕(SWO首席指揮者)

米原の文産会館を中心に、吹奏楽を通じた青少年の育成や、地元に着目した活動を展開していくことで期待が膨らみます。活動を共にやってきたSWOを協定のパートナーに選んでいただけたことをとても誇りに思います。この協定により、SWOがこの街の楽団として地域社会の皆さんに心のビタミンを届けられるように、そして豊かな街づくりの一翼を担ってくれることを願っています。

小幡理(滋賀県吹奏楽連盟 理事長)

文産会館は芸術分野において滋賀県、とりわけ北部地域での牽引的役割を担い、特に音楽文化に対しては積極的にその手腕を発揮し、愛好家の側に立った事業展開をされています。少子化や働き方改革、部活動の地域移行等により全国的に減衰傾向にある吹奏楽文化を盛り返す一助になることは間違いありません。そして将来的にはこの協定が先駆けとなり、同様の動きが全県に広がり大きなうねりとなることを期待しています。

令和6年度 文産×シエナの事業

「シエナ☆セブン」クリニック&コンサート
～滋賀ぶんさん やってみよう!吹奏楽シリーズ vol.1～

中高生を対象とした楽器クリニックを開催します。

また、SWOの精鋭メンバー7名によるソロ演奏からフルメンバーによる編曲版「ボレロ」まで、スペシャルプログラムのコンサートもお贈りします。

〈楽器クリニック〉

フルート、クラリネット、サクソ、トランペット、
チューバ、パーカッション 各10名
日時 6月9日(日) 10:00開始
対象 中高生(県内在住・在学)
料金 無料(チケット購入者)

要事前申込(4月6日(土)開始)

〈コンサート〉

日時 6月9日(日) 14:00開演
会場 イベントホール
入場料 一般1,000円
青少年(24歳以下)500円
[自由席] ※6歳以上入場可

チケット発売 4月6日(土)

滋賀県アートコラボレーション事業

第13回
オーケストラ・ムジカ・チェレステ
演奏会－ラストコンサート－

日野町で2000年に誕生したオーケストラ・ムジカ・チェレステのラストコンサート。指揮は篠崎靖男、ソリストに久末 航を迎え、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番、そしてメンデルスゾーンの交響曲「イタリア」を演奏します。今回は日野祭の囃子を題材にした新曲を作曲家 中村典子さんに委嘱して初演します。

日野祭

日時 7月28日(日) 14:00開演
会場 日野町市民会館 わたむきホール虹(蒲生郡日野町松尾1661)
出演 指揮:篠崎靖男 ピアノ:久末 航
管弦楽:オーケストラ・ムジカ・チェレステ [全席指定]
料金 一般3,800円 18歳以下2,000円 チケット発売 4月27日(土)
お問合せ TEL.0748-53-3233



オーケストラ・ムジカ・チェレステ

季刊誌 湖国と文化 第187・春号
特集 湖国のトレイル～山の過去・現在・未来を歩く

湖国はぐるっと山の国。近年、従来の山登りではなく、山々の自然、文化、歴史、暮らしの連なりを楽しみながら歩く「トレイル」が注目されています。特集では、そのうち、比良比叡トレイル、高島トレイル、伊吹山、鈴鹿10座の魅力と楽しみ方をお伝えします。加えて、大昔(白亜紀後期)の巨大カルデラ跡である湖東平野の低山とその山麓の歴史遺産をつないで歩く「湖東カルデラトレイル」



「湖国と文化」187号

の新たな提案、さらには「わたしだけのトレイル(テーマをもった山歩き)」の楽しみをお届けします。執筆陣は、湖国の山に長年かかわり続けてきたエキスパートたちです。

また、今、大注目の伊勢遺跡(守山市)の新連載が始まります。弥生期に突如現れ、忽然と消えた全国的に稀有な大規模祭祀遺跡はいったい何なのか。日本の古代の謎を解くカギともされるロマンを秘めた遺跡を、長年実際に発掘に携わり続け、研究を続ける方たちが読み解きます。

4月1日発行予定
＜販売価格＞ 660円
＜取り扱い＞ 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
＜お問合せ・購入申込＞
(公財)びわ湖芸術文化財団
地域創造部「湖国と文化」編集室
(TEL.077-523-7146)

※冬号「紫式部と近江～物語の誕生」も好評発売中。

